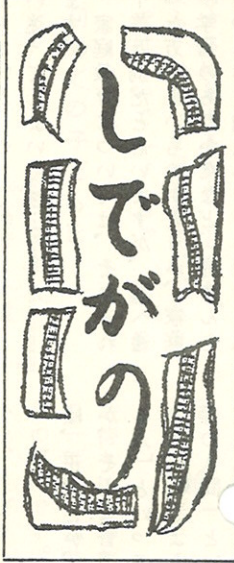


# 夏休みの過ごし方



しでがの通信  
第 59 号  
羽津小 P・T・A  
編集発行  
発行所 羽津小学校

## 楽しく余裕のある生活を

教頭 小塚 久美雄

子どもたちが待ちこがれていた夏休みがやってきました。ご家庭においてもいろいろのお考えになっておられると思いますが、季節のうえから平常のような学習を続けるには相応しくない、そのために学校生活から開放し、この時期はお子さんを家庭におかえしするわけです。したがってこの期

間は、学習のみに重点をおくのではなく、学習と遊び、子ども会の行事への参加、それから水泳、などを適当におりませ楽しく、余裕のある計画、日課を子どもと相談しながら設定し、そんな中から、子どもの自主性、創造性を育て、体力をつくり、家庭生活の楽しさを味わせ、社会生活のあり方を見につけさせること等が大切なことだと思えます。

学校としてもこれらのことをふまえ、

一 自らすすんで計画し、実行することによって、「できる」よろこびをもち、家庭生活の楽しさを味わせる。

二 長い休み中の時間をむだに過ごすことのないよう工夫し、自らす

目次	頁
・夏休みの過ごし方	1
・一年生と私	2
・修学旅行の思い出	4
・クラブだより	7
・声の広場	8
・町別懇談会報告	11
・課題図書紹介	12

すんでする生活態度を身につけさせる。

三 心やからだを充分きたええるとともに、休養をはかる。

四 地区子ども会の活動、行事には積極的に参加する。

五 交通安全は勿論のこと、水の事故、危害予防に気をつける。

以上を基本に、

◎日常生活について

・むりのない計画・日課をたて生活に折り目、切り目をつける。

・町子ども会・学級会などでの申し合せや、約束は自分たちできめたことなのだから、きちんと守るようにする。

◎休み中の学習について

・学習時間をきめておく(朝の涼しいうちに)

・学習のめあてをきめて、学習時間はよくばらない。

・ふだんできない観察・製作・調査、など根気よくやる。

◎保健・安全について

・長い休みを利用して、治療し

なければならぬところはこの機会にする。

・ふだんどちがった時間帯に、ふだんどちがった所へ外出することもありますが交通安全には特に注意する。

◎その他

・学校プールの使用、霞が浦緑地プールの利用については、学校からの注意をよく守り、事故のないように、他人にめいわくをかけないよう気をつける。

・外出に際しては、行先・目的・帰宅予定時刻を家の人に必ずづつておく。

以上学校の考えをまとめておきましたが、ご家庭での指導に役立っていたらと思えます。

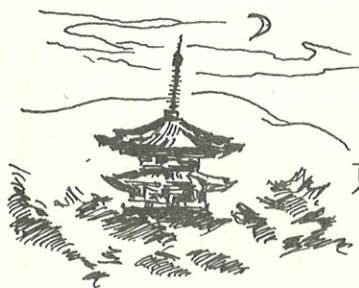
夏休みがおわったあとに、「これがあった」「こんな楽しいことがあった」等、子どもの心の中のあるものがあり、子どもにとって本当に有意義なものになるよう、お互い努力したいと思えます。







# 修学旅行の思い出



## 修学旅行記

六の一 市岡 卓

五月十六日。その日は待ちに待った修学旅行だった。まず、宇治平等院に行った。池のほとりにそびえている、ほうおう堂は、すばらしかった。伏見桃山城で昼食をすました。

機関車館・二条城・平安神宮などを見学し、旅館「三木半」へ着いたのは六時前だった。自分たちの部屋で休けいした。旅館の放送が聞こえた。風呂にはいる時間だ。みんなで風呂へはいった。みんなでワイワイさわいでいて、にぎやかだった。

食事をすませて、夜の京極へ買い物に行った。旅館と京極は、まさに、目と鼻の先だった。

旅館からしばらくいくと、「新京極」というネオンと店からのあかりで、昼間のように明るかった。みやげ物にこままって、同じ場所を何度もいったり来たりしていた。旅館へもどり、十時に消灯した。消灯後も、みんなとさわいでいた。ぼくらの部屋には、気味悪い老人の顔を書いたかけじくがあった。「あっ、このかけじく、おまえの方、向いとる。おまえ呪われるぞ」とか、じょうだんがたくさんとびだした。あまりぼくらの部屋がそうぞうしので、先生が、二・三

度注意してきた。その夜はなかなかねられなかった。始めての宿はくで、きんちゅうしていらしい。周りを見回すと、他にもねられない友だちがいるらしく、ごそごそとふとんの音がした。

みんなの声で目がさめた。数人の友だちと便所へ行った。ろう下にあった時計は五時をさしていた。

食事をすませたあと、再び見学にでかけた。清水寺を通り、三十三間堂へいった。千一体の仏像があるというが、とてもかぞえきれない。この中に自分と似た顔の仏像があるというが、とても区別がつかない。金閣寺と京都ご所を見学して、嵐山へいった。桂川の、渡月橋を渡った。

渡月橋は、「月でも渡れる長い橋」という意味でついた名前だそう。桂川の河原で記念写真をとったあと「嵐山レストハウス」で食事をした。午後、東映太秦映画村を見学した。ちょうど、「遠山の金さん」のロケをしているところだった。本物そっくりの江戸時代の街なみがつくられていた。

見学を終えて羽津小学校へ向かった。行きのように、市街地や、静かな村・山合いの所などを通っていた。

視界が開けてきた。四日市インターチェンジが近づいてくる。川ぞいに下ってきた。まもなく羽津小学校が見えてきた。修学旅行は楽しかった。またの機会にもう一度思い出の京都へ行きたい。

## 修学旅行の思い出

六の二 藤井 園己

修学旅行二日目の初めの見学場所は、清水寺だった。長い坂を登っていくと、大きな門が一つ見えてきた。そこでガイドさんの話を聞いた。清水寺には、仁王門、赤門、目かくし門の三つがある。それからまた少し歩くと、京都の町をながめられるところでまたガイドさんから話を聞いた。

右の方を見ると、山の下の方に「大」という字がある。それを、夜、木を置いて燃やすというそう。それから、中央の方に、キラキラ光る道路があった。それから清水寺の舞台から、下をながめると、もみじの葉が緑にそまり左右いっぱいひろがっていた。秋だったら紅葉がきれいだろうと思うと少し残念だ。

それから三木半旅館のことも思い出される。初めてへやにつくと、となりの班の人たちと、歌合戦をしているうちに、お風呂へ入る順番が来た

十五分のあいだにはいらなくてはいけなくて、急いで入り、すぐ出て服を着ていると、先生が、「もう十五分だから早く出なさい」と言われた。お風呂から出て、食事をしてから、新京極へ買い物に出かけた。班の人達といっしょだったが、すごい人ごみなので、すぐはぐれてしまったが、集合時間には、ちゃんと、あえたのでよかった。

旅館へ帰ると、ふとんがひいてあった。それからトレパン、トレシャツに着がえると、まくら合戦をした。ちょっとやっただけで、すぐふとんがくちやくちになるので、みんながふとんに入ってしやべりはじめると、消灯時間がきて、電気を消しても、ちっともねむれなかった。車は通っているさむいし、上の部屋がドタドタしてうるさかった。

十一時三十分近くになると、となりの班といっしょにトランプをやり出した子もいた。

ちょうど、十二時に斉藤先生が来て、しかられた。みんなが、寝どこにはいったが、私はそれから十五分ぐらいたたなければ、寝られなかった。

次の朝、三組の子が、こわい話を聞いて、いっすいもしなかったことを聞いた。なんとなく、あわただしい旅行

だったが、もう一度、行くとしたらと聞かれたら、ここには、書いてないが、映画村と、もう一つは旅館と答えるだろう。

## 修学旅行

六の三 真野 靖

五月十六日、午前五時、時計のブザーが鳴る前に起きていた。用意しておいた服を着て、旅行の準備をした。

「いってきます。」

「気を付けてね。」

母が、いつになくやさしい声をかけた。学校に着くと、もう、みんなおそろいの青いベレーぼうをかぶっていた。そして修学旅行の注意を受けた。いよいよバスに乗る。「あっこれやこれや。」

五台ある中の真ん中のバスにぼくたちは乗った。バスは、快調な音を立てて、走った。ガイドさんのあいさつに、みんなが答える。この時からぼくは、「この修学旅行は楽しくなるぞ。」と感じた。

ガイドさんと話をしているうちに、いつの間にか高速道路を出て、宇治市に入っている。数時間の長い時間が過ぎてしまった。

最初の目的地、宇治平等院に着いた。ここは、この修学旅行での印象に残った所の一つだ。中の阿弥陀如来が大きかったからである。あとぼくの印象に残った所は、

梅小路機関車館、平安神宮、清水寺、三十三間堂、太秦映画村、そして旅館である。

梅小路機関車館では、機関車が数々の昔の勇者に見えた。特に強く印象に残ったのは、D五一、C十一である。

平安神宮は、建物の赤色が美しく、印象に残った。これで、修学旅行第一日目の見学は終わった。

旅館へ行く。バスからおりて、少し歩いたらすぐに着いた。三階の部屋が、ぼく達二班と、三班の部屋だった。そこでみんなと話をしていたら、いつの間にかつかれがとれていった。

新京極に買い物に行く。外で注意を受け、それからは班別行動である。短い時間だったが、何とかいろいろな物を買えた。

十時頃、旅館の人がふとんをしいてくれたが、それからもぼく達は、ふざけたりしてなかなか寝なかった。やっとねついた頃は、もうわからないほどの時間がたっていた。

少しさわがしい音がした。起きてみたら、もう朝だった。みんなが起きてふとんをたたき、ほしておいた手ぬぐいをとろうと窓をあけたら、きれいな朝日が山から出てくるのが見えた。この部屋にたまっていたと、その日の出を見た時そう思った。

旅館の人にお礼を言って旅館を出た。見学に行くのだ。みんなを乗せて、バスは出発した。

清水寺についた。ここでは、舞台から下を見おろすと、京の町が美しく広がっていた。

次に行った三十三間堂の千手観音の顔は、よく似てはいても、やはりそれぞれがちがっていた。

あと御所、金閣寺、嵐山を回り、ついに最後の見学場所、太秦映画村に着いた。いろいろな展示品で映画のしくみがわかった。

見学はすべて終わった。たった一泊二日の旅だったが、ぼくににとっては本当に楽しい旅であった。

家路について、ふと「母さん達どうしてたかな」と思った。早くいろいろなみやげ話をしたくて、つかれた足をできるだけ速めた。

## 修学旅行

六の四 藤井 裕彦

五月十六日、待ちにまった修学旅行だ。五月晴れの中で古い都、京都に足を向けた。

初めにあみだ様のあった宇治平等院……… 京都の街を天守閣から見た桃山城………

SLがたくさんあって驚いた梅小路蒸気機関車館……… うぐいす張りのろう下が長かっ



た二条城……

赤い大きな建物平安神宮……

なんととってもあの楽しかった旅館での生活、まくら合戦はできなかつたけどぶつうの生活よりちがう所などや、あのおいしかった食事、そして新京都でどれにしようかと考えてやっと買ったおみやげなどの思い出があります。

十七日、おしゃか様の足の大きさをあてがった清水寺、清水の舞台から見た景色の美しさ……

千一体のかんのん様とにらめっこした三十三間堂……

金ばくの張ってあった金閣寺……

外人さんに写真を撮ってもらった京都……

美しい宇治川がありその近くで昼食を食べた嵐山……

見学した中で特に印象に残ったのは、やっぱり東映太秦映画村でした。

中に入って少し進むと橋が見えました。そこをわたろうと思いい途中までいくと、あと半分は階段です。村なども橋のようにくふうしてあるのだらうと思っていました。そして運よくさつ映をしていました。町人がけんかをしている所でした。なぜけんかをしているのかわかりませんでした。もう少し時間があればさつ映の内容もわかるのになと思いました。

た。た二日でも楽しかった修学旅行は一生の思い出になると思います。

### 修学旅行の思い出

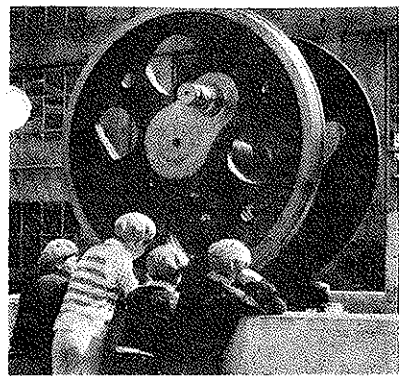
六の五 川村 勝治

五月十六日、ぼくは五時半に起きた。いつにないいい天気だった。この旅行で、一番楽しみにしていたのは旅館での生活である。朝から旅館のことで頭がいっぱいだった。

一日目の見学が終わり、待ちに待った旅館についた。

ぼくたちは、まず初めに、荷物の整理をして、おふろに入った。そうしたら一べんにつかれがとれた。

おふろに入った後は、夕食だった。食べる前に電線音頭を、みんなが歌って食べた。ご飯が冷たくなっていったが、みんな楽しく食べた。



べたので今までにない味だった。その後の自由時間、ぼくたちはまくら合戦をした。先生におこられたけれどもとてもおもしろかった。

それから、ぼくたちは、みやげ物を買って京極へ行った。いっぱい買う物があってどれにしようかまよってしまい苦労した。家族みんなにみやげを買った。妹には、たいこの形をした小物入れ、おとうさんには交通安全のおまもり、おかあさんとおばあさんには、生八ツ橋、ぼくは絵はがきとすずを買った。でも店で買うおみやげよりも、見学してきたことや楽しかったことを教えてあげる方が、いいみやげかもしれないと思った。

いろいろ買っている間に、一時間すぎ、集合時間が来てしまった。いそいで集合場所にもどった。そして帰りは、みんなと、みやげ物の話をして旅館へ帰った。

旅館へ帰ってこざかい帳の整理をしたが、もう一日がすぎたのかと思うと何かもったいないことをしてしまったように思えた。

そして少し遊んでいたら、もう寝る時間が来た。みんな一度「おやすみ」と言ってふとんへ入ったものの、なかなかねむれず、また起き出した。だが時間がたつにつれて、みんなつかれたのかねむり出し、最後には、ぼくと「本君と

浦君の、三人だけが起きていただけだった。三人しか起きていないのでだんだん心細くなってきた。そして、今まではちがって時間のたつのがおそく感じられるようになった。あまり寝られないので、今何時だろうと思つて、時計を見にいいたら、まだ三時七分だった。ぼくは、あしたつかれるといけないので、寝ようと思ひ必死に寝ようとする、少しねむらなくなってきた。

そして何かみんなの音がするのので起きたら、いつの間にか寝たのもう朝だった。ぼくは、夜寝られなかったのでもつかれているだろうと思つていたが、ぜんぜんつかれていなく、すっきりしていた。ぼくはほっとした。

ぼく達は、朝食をすませて、二日目の見学のため旅館を出た。そして、清水寺、三十三間堂、御所、金閣寺、嵐山、太秦映画村を見学した。

これで見学は、全部終わった。そして、きのうと同じコースを通り、羽津小学校に帰ってきた。

すぐに家に帰った。玄関を開けて、「たたいま」と言ったとたんに、力がぬけてえらくなつた。家に帰って旅行を思い出して見ると楽しい事がたくさんあったが、あつと言うまにすんでしまった。

## クラブだより

(上)

クラブのご紹介をいたします。

パトミントン・バレー・ソフトボール・卓球・フォークダンス・陶芸・あみもの手芸・自然クラブ・デザイン・習字・科学・工作・読書・鼓笛コーラス・美術・いご

以上の十六クラブがあります。今回は、五つのクラブでの活躍をご紹介します。又他のクラブについては、順次ご紹介いたしますので、お楽しみ下さい。

### 鼓笛クラブを思う

音楽専科 山本 滋代

私が羽津小学校へまいりましてから、早くも五年の歳月が流れ、六年目をむかえました。その間、私は、音楽の指導とともに鼓笛クラブの指導にあたりました。

鼓笛クラブのはたした役割りは、秋季大運動会をもち上げる鼓笛演奏、卒業生を送る演奏、本校創立百周年記念式典での鼓笛演奏等々……。鼓笛クラブの活躍は、皆さんもご存知の方も多いと思います。私は、教科をはなれ、音楽の好きな人が集まるクラブは、小学校でもぜひ必要であると考えます。

わずか週一回のクラブの時間です。児童が楽しそうに集ってき、それぞれの特技をいかし、いろいろな楽器にふれ、熱心に練習



その間に、音楽の楽しさ、美しにとりくんでいます。よりうまく演奏するためには、個人の練習とみんなの協力がなくてはできません。

さを知り、協力の尊さを教わられていくものと考えます。

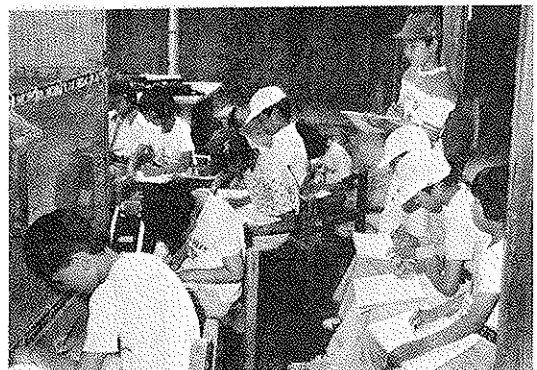
### いごクラブ



教室での学習をはなれ、学年・学級のわくをこえて同好のものが集まり、趣味を通して、お互に技術を高め、みがきあっていくのがクラブの目的です。

いごクラブは、本年度はじめて作られたもので、ごばん・ご石共にじゅうぶんではありません。

クラブは、自分たちのものであり、自分たちで育てていくものです。そのためには、ひとりひとりの努力はもちろんのこと、みんな協力していかなければなりません。



部員は六年男子八名、五年男子六名、女子二名、総勢十六名で、はりきって描画にいそんでいます。年間の計画も部員の希望を採り入れて対象を幅広くしています。人物のクローキーをし、現在飼育小屋のわとりに取り組んでいます。にわたりの動きを瞬時にとらえる困難さに手を焼きながらも対象の新鮮さが画面に表わされる楽しみがあるようです。

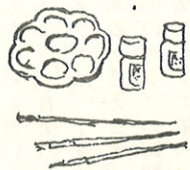
### 美術クラブ

そうして、小学校生活でクラブを通して得たものを将来も生かしていってほしいものです。

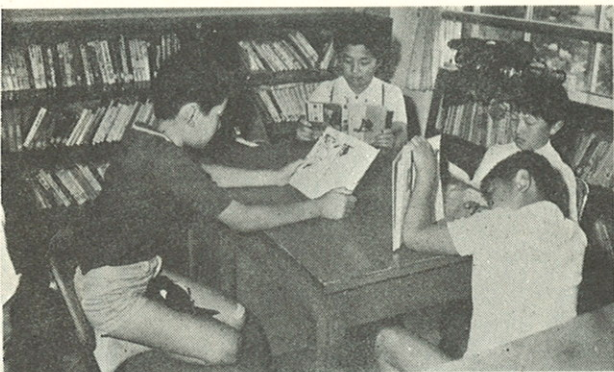


れ楽しんでクラブの時間を期待してくるようになればしめたものですが。

工作クラブ



プラモデルのように既製の型抜の組合わせでなく、一枚の紙から一片の板から、自分の手で製図し造型の楽しみ、喜びを体得させる。造型の一例。画用紙による帆船の製作。木片によるペーパーナイフ。竹ひごによる紙たこ。



読書クラブ

六時限の学習が終ったあと図書館に集まって静かに本を読む読書クラブです。元気にそして思いっきり活動したあとのひと時を、心落ち着けるクラブの時間は図書館の前を通っても物音もせずみんな好みの本を読みふけています。読書は「心の栄養」と言われます。よい本をたくさん読んで読書ノートを作ったり、感想文にまとめたりにしていこうと思っています。みんななまじめに出席して読書クラブを育てていきます。

声の広場

我家の夏休み

河瀬百合子

早や六月も中旬、家族一同が集まると、今年はどこへ行こうか、と、毎年、休みの長い夏休みを利用して行なう、家族旅行に話題が集中します。

今までに、里に近い鳥羽周辺で真黒になって泳いだり、四国の道後温泉の近辺に旅したり、去年は二回目の箱根、富士五湖巡りの旅行をしました。

主人も、又、私達も日本一高い富士山周辺の景色が大好きです。富士山を前にして、「どうぞ、遅く、心の大きい子供に育ってね」と、思わずその雄大さに、子供への成長を祈ってしまいます。

いつか皆で、この富士山を歩いて頂上まで登ろう、と、大きく手をのびし、体一ぱい、きれいな空気を吸い込んでいる夫と子供達、このなんとも、のんびりした、新鮮な気分が、旅の心を楽しくする。旅というのは、確かに人間の心を、一つの家庭生活の枠の中からある一瞬、抜け出させ、心うきうきさせ、お互いが楽しくしようという、協力感というものが、ばえ、

普段出来ずにいたものが、すんわりと、行動に、言葉に表わせることの出来る。今年も、子供主体の夏旅行を、あれや、これやと、楽しく、考えている最中です。

ある反省

別名町 N

子どもが一年生に入学した時には、親も子も立ちの時間が始まったことを喜び、子どもの勉強は学校でと、家では体力づくりをいいことに遊ぶにまかせて、親は生きがいとやらに夢中になって学校行事にも欠席がちでした。

気がついてみると、子どもは取り残されていたのです。親の生きがいは、利己以外の何ものでもなかったのです。子どものおくれをとりのどさなればと、塾にやろうか、学校でわからない子が果して塾でわかるだろうか、この子にあった塾があるだろうか、ずい分悩みました。

そんなある時、学習懇談会で、「子どもを塾にやるより、子どもと共に勉強してあげて下さい。教科書を読めばお母さん方にもわからないことはありません」と、先

生のお話に勇気づけられ、それから、時間を決めて子どもと共に机の前に座ることにしました。初めの頃のヒステリー状態も解消し、わからない所は共に考え、時には子に教えられ今は授業についていけるようになりました。親は親、子は子というのではなく、共に努力することこそ望ましい姿だと気がついたのです。先生を信頼し、学校行事、PTA活動には進んで参加し、子どもと共に学び、よき理解者、よき協力者となるよう努力して行こうと思います。

我家の健康づくり

木村 幸子

我家の健康づくりについて、我家なりに考え、実行している点を二・三のべさせていただきます。我家の健康づくりは、夏に体を十分に焼く事を第一条件にしています。子供達は日中の暑い最中でも帽子を被り、十分に運動(遊び)をさせます。大抵のお母さんは「日影で遊びなさい」と言われませんが、私は言いません。体の皮膚に日光を十分に焼き付けてしまいたいからです。そして海へ二・三日行き、潮風とギラギラ照りつける日光を十分皮膚に与えます。日頃、皮膚を焼いてあるので、海へ行っても、あの痛さは、そう感じ

ません。はカゼをひきません。それから、食事について、我家は、いかなる窮地に置かされても耐えて行く事が出来るよう、偏食は絶対にさせません。何んでも食べます。小さい頃、人参を好まない時、カレーライスには、使用人参の半分を、おろし金ですり、半分は普通の細目に切る等をして、徐々に馴らして食べる様にしていく等、手を加え、母の愛情を持って作っていると、きつと子供も食べる様になると思っています。それから献立について、お金をかけた食事は栄養が豊富であるかと、考えると、決してそうではないと思えます。私は、ブリの切り身を買うと二切二百五十円位、四人家族だと五百円かかってしまうので、私はデザートで売っているアラを一パック百円位で買ってきます。デザートで売っているアラには身がたくさんついているからです。あとは大根、人参、コンニャク、ちくわ等をたくさん入れ充分時間をかけて、コトコト煮ます。それから牛乳を一人一日二本以上は飲みます。牛乳は、通じをよくし、栄養があるからです。それから、アロエ(医者いらず)を常に栽培しておきます。のどがちよっとおかしいなあ、と思ったり、しぼり汁をスプーン1-2杯、胃が痛いかなあと思ったり、

二センチ位食べ、虫にさしたらぬりつける。便がでなくなったら少し多めに食べる。(アロエは体質によって合わない人もいるので必ずしも誰にでもと言う事にはいかない)

そして厚着はしない。させない。それから敷布団は、せんべい布団、マットレスは絶対に敷きません。

以上が我家の健康づくりです。皆様方に、少しでも御参考になれば幸いです。

人間、体が資本です。財産です。健康で明るい家庭を望みます。

我家の夏休み

仲 啓子

我家では毎年主人の郷里へ家族四人で出掛ける事を恒例としています。座席指定の特急券を予約するのには数回とダイヤルし、確保出来た時の喜びはひとしお。と言うのも特急でも四時間余乗らねばならないし、子供達がこの特急くろしお号に乗りたいたからです。

実家がある串本の小さな町は、山あり海あり川ありで二人の息子にとっては絶好の地です。朝は早起して蟹や昆虫をつかまえに山のぼり、昼は海水浴、又川へ釣に出掛け、陽が沈むと夜釣に時は海辺でたき火をしながら花火を打上げ、とにかく遊びっ放しです。

私達も暑さを忘れ？童心に返って子供達と戯れます。今年も又楽しみの夏がやって来ました。いつもの様に家族四人の夢を乗せて、特急くろしお号は走ってくれる事でしょう。

スポーツママ

山本 康子

今ママさん球技が盛んになり、ソフトボール・バレーボール・テニスと花ざかりブームを呼んでいる。

私共主婦にとってスポーツは若い時しかやれないと思ひこんでいたのですが、このブームで主人の理解もあって、今ではテニスとソフトボールをして張り切っています。

太陽の下で真っ黒になって、残り少ない若さで頑張っているのです。最初は健康の為と思つてやりはじめたのが、今では夢中になり毎日が楽しくて、食事時の話題がふえ、試合後の食事の時などは主人や子供に「お母さんは見てられない」と、さんざん言われ、それも私にとって嬉しいアドバンスなのです。私はいつまでもこのスポーツを体力の続く限りやりたいと思います。





私の思ったこと

福田 妙子

私達の小さい頃は、学校から帰れば、遊びに行き、勉強も、あまりしなかったように、記憶しておられます。今の子供は、時代の変化とはいえ、塾へ通っているとか、漢字を、見ても、「もう、こんな字、習うの」と、言った調子で、むりもないと思うが、皆に、迷惑をかけず、習った事を、覚えてくれば、よいと思っております。

クラブ活動

緑ヶ丘 O

スポーツを愛する一人であるが、この学校は、運動部のクラブ活動が少なく思う。水泳・ソフトボール・サッカー・陸上・野球等々、いずれも小学生で、出来るスポーツだが、この学校は、野球部だけが活躍して、男子は、ほとんど野球部にあこがれ、部員が多くて、入部したくても出来ない、野球の好きな息子がガッカリしている。女子でも、スポーツの好きな子が、居ると思う。好きなクラブへ、どんどん入部出来るように、体力

作りの為にも、クラブを、作ってほしい。

(お願い)

スポーツクラブの指導者になってくださる人を、ご紹介下さい。サッカー・テニス・剣道・その他小学生のできるスポーツならなんでもけっこうです。お心当りの方は、町代表又は内山先生までお知らせください。

新指導要領に

ついでにの雑感  
羽津山町 T・S

昨日文部省は新しい指導要領の大綱を発表されましたが、やはり予期した通り審議会の中間答申を踏襲したものに過ぎませんでした。たしかに各教科共内容が大幅に削られ、児童の負担が軽減されているように見受けられますが、果してそうなのかが疑問であります。

昨今来、各方面から指摘されているように現在の児童生徒は学習しなければならぬ教科内容が極めて多く、ほんとうに子供らしいのびのびとした生活ができないように思います。あまつさえ、各学年とも、どうしても修得させなければならぬ内容は、その学年内で消化しなければならぬ為、勢い授業も理解不十分の児童があってもやもやみえず見切り発車せずにはいらぬ状態に追いやられて

いるのが現状ではないでしょうか。その為に落ちこぼれの児童がふえ、学校嫌い、ひいては怠学等の非行さえ招くようなことにもなりかねない現状を見た時、たしかに、現在日本の大きな社会問題にもなっていることは否定できないことだと思えます。

そうした中で、昨日の文部省の新指導要領が発表されたのは、むしろ時期遅しの感がないでもありません。しかし、この指導要領に全幅の信頼が置けるかどうかはまた不安でなりません。

即ち、たしかに学習内容は各教科共多少軽減されてはいるものの授業時間が約中学年で二時間、高学年で四時間では、本当の内容の軽減といえるかどうか極めて疑問に思えるのです。やはり、私は落ちこぼれをなくし、本当に誰にでもわかる内容、そしてゆきとどいた教育をしていくためには指導内容とかかわって、一学級の標準児童数を少なくすること、基本的な内容を十分時間をかけてゆくり指導していただけるような配慮がなければならぬと思うのであります。

また、中学から高校への入試も現実には実施され、やはりよい高校へ進学したいという希望は誰もが抱いているものでありましょう。そうした制度ともかかわり、指導

内容だけでなく、学校体制のようなものもあわせて考慮していただきたく思います。

ありがとう  
「くちくま」

校庭の東北の一角に色あざやかな新しい遊具が目見えたしました。それがまた子どもたちの大変な人気をよんでおりますが、これは「むつみ会」といって昭和五年に羽津小学校の当時の尋常科を卒業し、同七年高等科を卒業された方々でつくっておられる会で、



その会員のご厚志によって贈られた、「はん登棒」です。

子どもたちの体力づくりがさげばれている今日、遊びの中で筋力体力を養うにもってこいの遊具で子どもたちが喜ぶとしてよじのぼっている姿を見るにつけ、ほんとうによい遊具をいたゞいたと、学校としても感謝の気持ちでいっぱいです。この機会にご紹介しあげるとともにあらためてむつみ会の皆様にお礼申しあげる次第です。

今ひとつは、第一校舎と第二校舎を結ぶ渡り廊下の西側に百周年記念の際つくっていたゞいた足洗場周辺をブロック張りをして砂が校舎内にあがらぬようにというところで去る六月十二日(日)PTA環境整備部会の部員の方々によって、旧プレハブ校舎渡り廊下の平板ブロックを取りはずし、この作業をしていたゞきました。尚その際、渡り廊下屋根の取りはずしも同時にお世話になりました。おかげで足洗場付近はさっぱりとしたし、また運動場は一層広く使えるようになり子どもたちの活動にはほんとうによい環境にしてい

たきました。本部役員の方々、また環境整備部の皆様日曜日にもかかわらず、朝早くからごろうさまでございました。

あらたに学校側からのお礼を申し上げます。



整備作業のお礼

環境整備部長 藤井 薫

去る六月十二日、つゆに入ったばかりの日曜日、お天気が心配でしたが、作業のはじまるころにはつゆとは思えぬ青空がひろがり、暑さも加わって参りました。この日、本部役員並びに環境整備部の皆様には、お休みの日にもかかわらず、学校環境の整備作業に、早朝から半日の奉仕をいたゞきありがとうございました。おかげをもちまして、足洗場前と

町別懇談会報告

水飲場前の整備ができましたことと、当初予定していなかった旧プレハブ校舎前の渡り廊下屋根の取りはずしまでもしていただき、何年ぶりかで、すっきりした運動場にしていただきました。皆様のおほねおりで、着々と学校環境も整

備され、子どもたちもきつとこのびのびと元気に育ってくれることと思えます。ここにあらためて、ご報告をおね、おほねおりにいたゞいた方々にお礼を申しあげたいと存じます。

☆別名町

六月十七日懇談会を開きました。が、生憎雨降りて出席率は、約三十%位でした。色々と学校に対する事が出ました。

十 学校外で物品の販売に対する学校の体制はどうか。以上色々と学校並びにPTA本部役員に対する、質問が出ました。

☆羽津第二

一、水曜日はなぜ学校は昼までなのか、先生は皆研修に参加しているのか。

十一月 六月二十八日羽津第二の地区懇談会を行なう。雨天にも拘らず全員出席して行なわれた。

二、夏休みの校庭の草取りは、高学年も出席させてほしい。

十二 ①一年生の父兄では立哨の方法がわからないので入学迄に教えてほしい。

三、塾へ行っている子供は、全体で何%位行っているか? 一人でいくつ習っているか? 又、行っている子供と行かない子供の差はどうか。

十三 ②羽津支所西の橋の巾を北側へ広げてほしい。

四、学校全体で一日何%位休むか。

十四 ③立哨員と子供との朝の挨拶が少ない。

五、服装を統一してはどうか。

十五 ④一ヶ所を二つの町が立哨する場合協力して行なうこと。

六、危険箇所はどうなっているか。

十六

七、誘拐に対する学校の体制はどうか。

十七



◎霞ヶ浦プール使用について回数券を発行出来ないか。

◎校門前の業者の商品の販売について学校側も父兄も注意する。

◎制服についてはあまり賛成者はなかった。

◎町別の子供会懇談会についての話し合いの内容を発表してほしい。

◎授業終了後の先生と児童の挨拶が行なわれていない「クラス」がある。

### 課題図書紹介

今年も課題図書がままりました。

夏休みを利用して、時にはテレビを消して、親子で本を読み、話し合ったり、感想文など書いてみてはいかがでしょう？

◎わたしのぼうし

さのようこ作・絵

赤い花のついた帽子は、わたしのお気にいり。ある日おばさんのところへ汽車に乗って行く途中、窓からとんでしまったのです。(ポプラ社)

◎もずの子ども

小野木学 著

カッコーのひなを自分の子どもと信じて育てるもずの夫婦のひたむきな姿を描いた絵本

○くろべのツンコぎつね (講談社)

大割輝明 作

井口文秀 絵

狩人のせいさくが子もちぎつねをうった。つれてかえった子ぎつねは家じゅうの人氣ものになった。(小峰書店)

○ふしぎななぎばあさん

手島悠介 作

岡本颯子 絵

広一はかぎつ子。学校からとんで帰って、はっとした。ポケットにかぎがない。道、校庭、教室どこにもない。しよんぼりしているとおばさんが。(岩崎書店)

○ワイシャとまほうのもくほ

(小学校高学年向)

「ごめんなさいって、いうもんか！」木馬を買ってくれなしかあさんとけんかをしたワイシャはあやまらず、あたらしいかあさんをさがしにいきます。(金の星社)

○雪ぼっこ物語

生源寺美子 作

市川 禎男 画

みちのくの里に、こけしづくりの女工人チヨをたずねた。素朴なたたずまい、りんとしたおもぎしの八梅こけしにふしぎな魅力があった。(童心社)

○ひきがえる

三芳悌吉 文・絵

ひきがえるはおとなしくしんぼう強い。一日に相当数の虫を捕えて食べ、毒液を出すという。このふしぎな動物の生態を楽しく紹介する(福音館書店)

○たおされたかしの木

吉見昭一 著

石部虎二 絵

京都、鴨川の糺(ただす)の森の近くに住むキノコの好きな四方(よも)じいさんの物語として、腐生菌、腐朽菌などいろいろなキノコについて述べる。(文研出版)

### 常任委員会だより

第三回常任委員会は去る六月九日(木)午後七時より行われました。

内容は次の通りです。

- 1.会長挨拶
- 2.学校長挨拶
- 3.報告

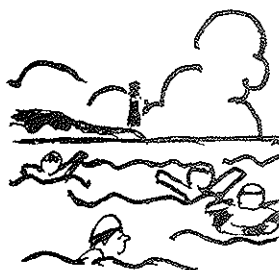
第二回常任委員会以降の行事等の経過について報告

4.年間活動計画について  
前回以後部会審議を経た部の計画を追加承認しました。

5.各部の六月行事について、報告

### 承認 6.学校行事報告

六月の学校行事の主なものについて報告  
以上



ですく  
さいど

◎暑中御見舞申し上げます。

◎もうすぐ夏休み、何か一つ目標をきめてがんばりましょう。

◎夏休みこそ親と子の会話の季節です。時には夏の夜空をおおぎながら、高学年にはギリシャ神話などがででしょうか。

又、小さい子どもには分りやすく、昔々のお話などがでしよう。

◎今年の梅雨は陽気型とか、気持ちのよい日に机に向ってたくさん原稿を読む楽しさで部員一同はりきっております。

これからの投稿をおまちしております。